



平成30年3月29日
中部地方整備局

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第4回定例会議を開催しました

— 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第4回定例会議では、発注工事等の中から抽出した4件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成30年3月12日（月）10時00分～12時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 長澤 隆夫

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成29年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成30年3月12日(月) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授) 林 秀弥 (大学院教授)		
審議対象期間	平成29年10月1日～平成29年12月31日		
抽出案件数	総件数 4 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	2 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	0 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙 1 - 2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 清水港富士見岸壁付帯工事	機械設備工事	1	1	12月5日	鈴与建設(株)	502,200	98.9	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 名古屋港船舶修理計画等検討業務	建設コンサルタント等	1	1	11月16日	(一社) 日本作業船協会	7,560	93.9	

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の条件を満たす 参加表明書の提出者数	技術提案書の 提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成29年度 波浪及び流況観測の高度化と効果的な活用に向けた検討業務	建設コンサルタント等	1	1	10月27日	(一財) 沿岸技術研究センター	40,068	99.9	
平成29年度 衣浦港整備効果検討業務	建設コンサルタント等	4	4	12月27日	(株) 日本海洋科学	10,584	96.3	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成29年度 清水港富士見岸壁付帯工事	1者応札の理由について、どのように分析しているか。	入札説明書を入手した者にヒアリングを行った。参加要件を満足する技術者がいない、社の得意分野ではない、手持ち工事が多く対応が困難といった理由で参加を見合わせたとの回答を得ている。
	本工事は、設計と工事を一体で発注しているが、機械設備工事の場合に適用する方式なのか。	受注者が現場状況を把握して詳細設計を行うことが効率的・合理的な施工につながると判断される場合に適用している。
	設計と工事を一体で発注する場合の基準はあるか。	現場条件による施工内容等の変更要素が大きい工事や施工者のノウハウが活用できる工事に適用している。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成29年度 名古屋港船舶修理計画等検討業務	1者応札の理由について、どのように分析しているか。	入札説明書を入手した者にヒアリングを行った。参加要件を満足する技術者がいない、社の得意分野ではないといった理由で参加を見合わせたとの回答を得ている。
	システム構築の検討とそれ以外の業務を分けて発注すれば、1者応札が回避できたのではないか。	システム構築の検討は、一般的な業務と考えている。また、参加可能な同種業務実績を有する者も7者確認できたことから、本仕様内容で発注を行った。
	過去に同種の発注はあったか。それらの応札状況は、どうだったか。	平成24年度に類似業務を発注している。落札者は本件と同じ者となっている。
	1者応札の場合でも評価点が低いことにより排除できる規定になっているか。また、その規定は、公表されているか。	業務を適切に履行できないものとして入札を無効にする場合の取扱いを定めており、その内容は入札説明書に明示している。
	本件は適正に処理された。	

3. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

平成29年度 波浪及び流況観測の高度化と効果的な活用に向けた検討業務	プロポーザル方式とはいえ落札率が99.94%と非常に高いが、どのように考えるか。	プロポーザル方式は、当局が予め示す予算の範囲で最大限の技術提案を提出してくるものであるため、予定価格に近くなることもある。
	過去に同種の発注はあったか。それらの応札状況は、どうだったか。	平成24年度に同種業務を発注している。落札者は、本件とは別の者となっている。
	本件の落札者は、どのような組織か。	沿岸域及び海洋に関する技術開発や調査研究、波浪に関する観測データの収集、解析及びシステム開発などを行っている者である。
	本件は適正に処理された。	

4. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

平成29年度 衣浦港整備効果検討業務	本件は、他に比べ参加者が比較的多いが、どのような違いがあると考えるか。	本件業務は、全国的にも比較的多く発注されている業務であり、実績を有する者も多いことから、参加しやすかったのではと考えている。
	評価にあたり、客観性や公平性を保つために留意していることは何か。	提出される技術提案書等の評価にあたっては、どの者の提案かを特定できないようマスキングをしたうえで、3名の職員が別々に実施している。
	本件は適正に処理された。	

5. その他

	なし
--	----